工業の振興

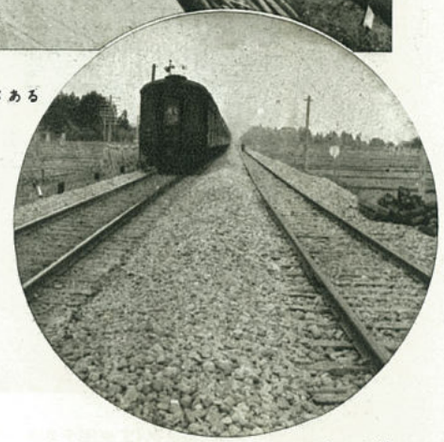
交通網の整備

工業の立地条件を整備するには交通網の確立が第一である。

鉄道は資源開発の動脈であり、現在、東北本線の花巻・黒沢尻間の復線工事、山田線の復旧、小本線の延長が工事中である。

計画では資源開発線のほか、東北本線の複線化と主要鉄道の電化、三陸鉄道なども含まれている。

山田線の復旧工事
線路には出水に備え堰堤がある



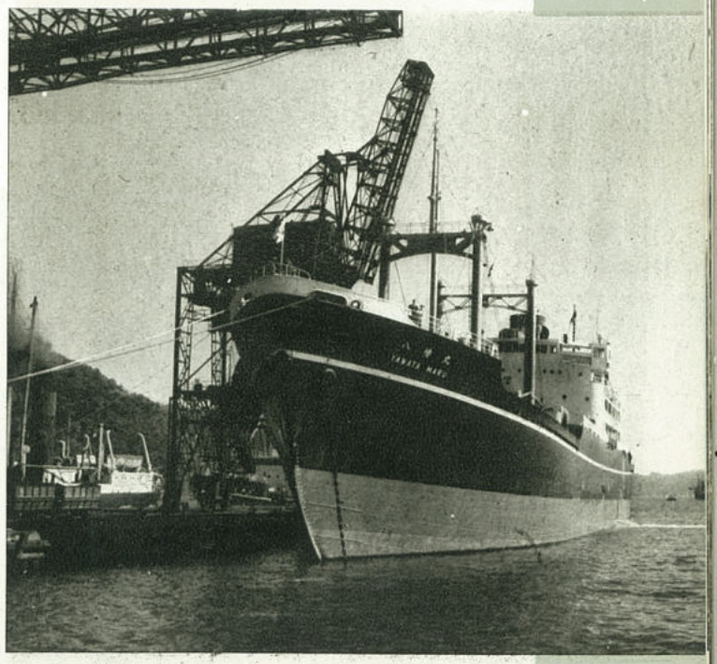
復線化なった花巻・黒沢尻間の東北本線

鉄道と港湾

交通網の整備では鉄道、道路に次いで港湾は大きい役割をもっている。

本県では既設の港湾で外国航路の一万トン級船が岸壁に横づけしているのは釜石港のみである。

県総合開発計画では臨海工業都市として釜石港のほかに大船渡、宮古、久慈の諸港が計画されている。



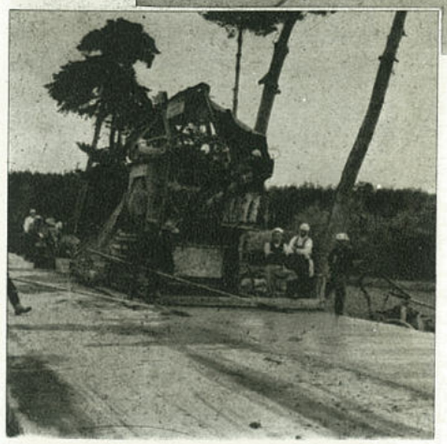
釜石港

道路

道路の現況は幅三・六メートル以上のものは本県では一平方キロ当り二七八メートルで、全国平均の六六八メートルに較べると、わずかに二分の一に満たない。

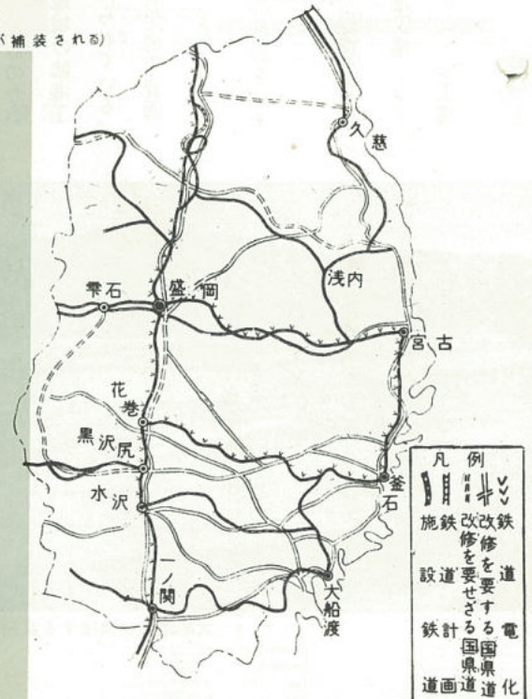
本計画では幹線道路を整備し、盛岡より県内主要地点に三時間以内で到着し得るよう計画されている。

国道四号線（見前村にて）



国道四号線の補装工事
（今年は石鳥谷、花巻間が補装される）

交通網整備計画図



開発の構想

⑨工業振興

未開発の地上、地下資源と発電とをもって「県工業振興五ヵ年計画」が同時にたてられている。

これによると地下資源を使うものではセメント、カーバイト、熔成燐肥、石灰窒素、合成センイ、其の他林産資源を使うものではパルプ工業、人絹工業、水産資源を使うものではノーダ工業製塩などである。

開発の構想

⑩人口

工業が盛んになると、現在の百三十五万人の外に八十三万人ほど増加する見込みである。

結局、十年後の本県人口はその間の自然増加も合せて二百四十三万人になると推定されている。